

2012年8月

遠山藤原学校研修

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

特集：遠山郷で未来を構想する

—8月末：遠山郷の夏祭り—

学習グループプロハス・里山グループ共通



研修日程：2012年8月25日（土）・26日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

< 1、研修の内容 >

このたびは、2012年8月遠山藤原学校研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、楽しく行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

5年前から始まった遠山藤原学校、遠山郷の休日は、毎年参加者が増えていまして、今年も3月から11月までの毎月開催です。そして今年の遠山藤原学校研修のテーマは「遠山郷で未来を構想する」です。遠山郷は一言で言えば里山に囲まれた地域です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことで、里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただき、その「懐かしい未来」の風景のなかで、21世紀を明るく元気に生きるためのさまざまな勉強をしていただきます。

まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越してください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋に9時58分着。そして豊橋10時8分発の飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

JR飯田線の平岡駅から道の駅「遠山郷」内にあるかぐらの湯バス停までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人650円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分、かぐらの湯には12時30分に到着です。そしてアンバマイ館はかぐらの湯バス停の目の前です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田、松川、飯田山本インターチェンジから約1時間です。

さらに昨年からは遠山藤原学校研修では、往復とも新宿発着の貸し切りバスが出ます。新宿駅西口に1日目の午前6時45分に集合し、午前7時に出発。遠山郷には乗り換えなしの5時間半の旅で12時30分に到着します。のんびりバスに乗って遠山郷へ、お時間の許す方は、ぜひバスでのんびりゆったり、東京から遠山郷へ、直通貸し切りバスでお越してください。

さて、集合場所の「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温

かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合してから、みなさんに自己紹介をしていただきます。

それから地元の温泉施設、かぐらの湯内にある食堂**味ゆ〜楽**で昼食にします。味ゆ〜楽の料理長はかつて藤原事務所で働いていた荒井茂樹で、結婚して料理長の大役を務めています。今や若者が本気で限界集落に住んで仕事をする時代が来ているのです。

昼食後は、皆さんの午後の水分補給のために、この地域を治めていた**遠山氏**の菩提寺、**龍淵寺**に**観音霊水**を汲みにいきます。観音霊水は江戸時代に徳川氏に滅ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城に4百年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしいお水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも2百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。今回はみなさんに水筒あるいはペットボトルを必ずご持参いただき、このお水を汲んで午後の水分補給とします。

その後、みなさんをバスで**八重河内**（やえごうち）地区にある**三遠南信観音**へお連れします。三遠南信とは愛知県の三河、静岡県の遠州、そして長野県の南信州をつなぐという意味で、三遠南信観音は遠山郷の南、現在の浜松市との間を結ぶ三遠南信道路の早期開通を地元の人々が願って建てた巨大な観音像です。よく地方に行くと道路の開通が悲願だと言われますが、本当に深い山に囲まれた遠山郷では、この道路の開通が今でも人々の悲願なのです。都会では道路の作りすぎが問題になりますが、今の日本にも地方に行けば本当に悲願の道路というものがあるのです。ぜひここでは道路を通す悲願がいかにかすごいものかを巨大な観音像を見て実感していただきたいと思います。それからもし道路状況が良ければ八重河内地区のさらに奥にある**梶谷**（かじや）地区に行きます。ここは本当に谷の奥にある隠れ里のような場所で、かつてはたくさんの人でにぎわっていたことを証明するような石垣や畑の跡が多数残っています。そして非常に古い歴史を持つ三条神社というお宮も残っています。八重河内地区から奥に入って行って、最後の家を過ぎて、もうこれ以上先には人が住んでいないだろうというところに忽然と集落が開ける。それが本当の隠れ里です。またもし道路事情が悪ければ八重河内地区から小嵐溪谷（こあらしけいこく）を上ったところにある**此田**（このた）という集落を散策します。ここは標高7百メートルほどの見晴らしいの良い場所で、険しい山肌に張り付くように家が建っています。本物の山里の暮らしをみなさんに実感していただきたいと思います。

見学が終わりましたら再び八重河内地区に戻ってきて、今日のお宿である「**いろりの宿 島畑**」にチェックイン。お荷物を置いていただきます。その後、再びバスに乗って和田地区に戻り、午後3時半ごろから和田地区の夏のお祭り、**御射山祭り（みさやままつり）**に参加します。御射山祭りは同じ地区にある諏訪神社の祭礼で、諏訪市にある諏訪大社の流れをくんだお祭りです。全国の諏訪神社の本宮である諏訪大社では、鎌倉時代から上社・下社それぞれに御射山祭が行なわれていました。旧暦の7月下旬、八ヶ岳山麓で巻狩、草鹿射ち、相撲などの武芸が行なわれたほか、里宮では御霊会風の行列が練り歩きました。霧ヶ峰高原の西北の「旧御射山」と呼ばれる場所には、下社の御射山祭の舞台となった巨大な土壇（コロシアム）の遺跡が残っています。この土壇には将軍や北条氏のほか、鎌倉幕府のそうそうたる武将が棧敷を連ねていました。北条氏は信濃にも多くの領地を持ち、諏訪神への崇敬を厚くしていました。こうしたこともあり、御射山祭は幕府の下知によって信濃国内に領地をもつ御家人すべてが回り番で費用を負担しました。祭りは武将ばかりでなく一般民衆にも見物が許され、身分の上下を問わない全国規模の大イベントだったのです。下社の御射山祭りは、

室町時代に下社大祝（おおほうり、神職の最高職）の金刺氏が上社によって滅ぼされてからは衰退しましたが、祭典に集まった武士たちによって御射山祭の風習は全国に広められ、「ミサヤマ」と呼ばれる地名や神社が現在でも各地に残っています。

お祭りでは町内会ごとにおみこしが出ます。今回は地元の皆さんのご厚意で遠山藤原学校の参加者もお祭りに参加させていただきます。どうぞ歴史のあるお祭りで地元の皆さんとともに夏の終わりの夕方を存分に交流し、満喫してください。そして午後7時からいよいよ御射山祭りの夜の部、**花火大会**が始まります。この花火大会は遠山谷の狭い谷底から細く切り取られた空に向かって真上に打ち上げる花火が特徴で、音が両側の山に反射して非常に迫力があり、狭い谷の空いっぱい広がる花火と轟音を心行くまでお楽しみください。遠山郷では御射山祭りが終わると秋がくると言われていて、まさにゆく夏を惜しむ人々の熱気が感じられると思います。お食事は花火大会の開始に合わせてお弁当をお届けする予定です。

花火は8時半ごろ終わりますので、その後、お宿の隣にある遠山温泉郷かぐらの湯にお入りいただきます。かぐらの湯は地元で沸く温泉で、源泉温度42.5度の全国でも珍しい高濃度塩化物温泉（ナトリウム・カルシウム塩化物温泉）です。大変豪快な露天風呂もあり、今日一日の疲れを遠山の気がみなぎった温泉でゆっくりと癒してください。この地域は日本列島を東西に走る**中央構造線**という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、ファンが増えています。

温泉での入浴が終わればバスで今日のお宿までお送りしますが、ご希望の方は地元のカラオケスナック「**舞夢**（まいむ）」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気満たされています。今回はお祭りの後ということもあって、地元の方も来てお店は満員になると思います。どうぞゆく夏を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は宿を出て和田地区に向かいます。そして和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・**秋葉街道**の宿場町、**和田宿**を歩いて通って、この地域を治めていた**遠山氏**の菩提寺、**龍淵寺**に行きます。観音霊水をいただき、境内にある樹齢5百年の**観音大杉**を見学します。これは根元が一体となった4本の杉で、まだ大変若々しく、家族和合のしるしとして参詣する人が絶えません。

さらに**遠山郷土館「和田城」**を訪問します。ここでは遠山郷に伝わる霜月祭りをビデオで観るほか、霜月まつりに使う面の複製200点余り等を見学します。また館内にある**カフェ 和田城**では、観音霊水で入れたコーヒーをいただきます。

そして観音霊水の隣にある「**殿町の茶屋**」に行きます。ここは地元の女性たちが経営しているお饅頭屋さんで、名物の**ふじ姫饅頭**はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待して下さり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

それから木沢地区に向かいます。途中、小道木（こどうき）地区で遠山川の河原に下りて散策をしたいと思います。ここには河原に埋まっている**埋没木**があります。埋没木は今から1300年ほど前に一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のヒノキやケヤキの立ち木が近年露出したものです。ヒノキなどは今でも天然ヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じるすることができます。さらにこの地区には、遠山の霜月祭りが開催される**熊野神社**があります。実は熊野神社の拝殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく**気の出る神社**です。

その後、バスに乗って遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、**旧木沢小学校**に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となっ

た地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画会の開催、引っ越しのサカイのCM撮影などが行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて3年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしようとしている農園です。

そして観光農園で1時間ほど農業体験を行います。遠山藤原学校スタッフの皆さんのリードで、ご参加の皆さんに季節に合わせた農作業を行っていただきます。農作業はみんなでやるととても楽しいものです。遠山郷ののどかな里山の中に広がる観光農園で、自然と触れ合う楽しいひと時をお過ごしください。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい複合発酵技術を使った液肥を作り、散布しています。その様子もご覧いただけます。ただ、真夏の炎天下で作業が困難な場合には、体育館でかつての遠山郷の記録ビデオをご覧いただき、昔の山里の生活をしのぶと同時に、いかに昔の人たちの気力・体力がすごかったかを実感していただきます。

その後、昼食は木沢地区にある梨元停車場という食堂に行きます。ここはかつて遠山谷を走っていた森林鉄道の起点だった場所で、今そこには地元の人たちが復元作業を行っている森林鉄道の軌道と車両があります。

昼食後は再度木沢に戻り、旧木沢小学校の教室を使って「藤原直哉の時局展望と日本再生への道」と題して講演を行います。そしてその後、同じ会場で「インターネットラジオ公開録音」を行います。火曜日にアップする私のインターネットラジオの番組のうちの1本を皆さんの前で公開録音します。

その後、午後3時45分に旧木沢小学校にて解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方は道の駅「遠山郷」まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、道の駅「遠山郷」内にあるアンバマイ館の玄関前（停留所名はかぐらの湯）を16時7分に出る乗合タクシーで平岡駅まで行ってください。平岡駅には16時28分に到着します。そして平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。また貸し切りバスで新宿にお帰りの方は旧木沢小学校からそのまま新宿までバスでお送りいたします。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊び、またよく学んでいただいて、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思っています。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2012年7月吉日
シンクタンク藤原事務所
会長・経済アナリスト 藤原直哉

< 2、研修日程表 >

8月25日(土)

時間	予定	写真
6:45	集合 バス乗車の方、新宿駅西口、工学院大学西側集合	
7:00	出発 貸し切りバスが新宿を出発する時刻	
12:30	集合 <u>道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合</u> 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食 かぐらの湯内、「味ゆー楽」にて	
13:15	出発 観音霊水へ出発	
13:20	到着 到着後、観音霊水を各自汲む	
13:40	出発 八重河内地区へ出発	
13:50	到着 三遠南信観音の丘のふもとに到着。観音像へ	
14:15	出発 梶谷地区へ。悪路の場合は此田地区へ	
14:30	到着 梶谷あるいは此田地区を散策	
14:50	出発 八重河内地区の、いろいろの宿 島畑へ	
15:05	到着 チェックイン	
15:15	出発 和田地区に向けて出発	
15:30	到着 和田地区のお祭り会場に到着、お祭り参加	
19:00	夕食 和田地区で花火大会を見学。夕食はお弁当	
20:30	花火大会終了。徒歩で天然温泉かぐらの湯へ	
21:00	出発 お宿へ。希望者は舞夢で二次会	
	<u>日差しが強いので必ず帽子と、ペットボトルまたは水筒をお持ち下さい</u>	
	<u>観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトル、水筒、ポリタンをご用意下さい</u>	
	<u>農園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手をお持ちください。長靴は当方で用意します</u>	
	<u>朝夕は冷え込むことがありますので、念のため薄手の上着をお持ちください</u>	
		遠山郷の名物

8月26日(日)

時間	予定	写真
6:30 7:00 7:45	起床 朝食 出発 いろいろの宿 島畑 和田地区へ向けて出発	
8:00	到着 龍淵寺に到着。観音霊水、観音大杉、殿町の茶屋、遠山郷土館「和田城」等見学	殿町の茶屋(ふじ姫饅頭)
9:45	出発 木沢地区へ出発。埋没木、熊野神社を見学して旧木沢小学校へ	
10:30	到着 到着後、校内見学。引き続き、遠山藤原学校観光農園で農作業実習	観音霊水
12:20 12:30	出発 梨元停車場へ 到着 梨元停車場にて昼食。その後、森林鉄道復元の様子を見学	
13:15 13:20	出発 旧木沢小学校へ出発 到着 講演「藤原直哉の時局展望と日本再生への道」	遠山川の清流
15:00 15:30	録音 終了 インターネット放送公開録音	
15:45	解散 旧木沢小学校にて解散 新宿行きの貸し切りバス出発 電車、お車でお越しの方は、道の駅「遠山郷」までお送りします。 乗合タクシーは同所のバス停かぐらの湯から16:07発。平岡駅16:28着。 豊橋方面行特急は平岡を16:42発です。	旧木沢小学校
21:15	到着 予定 貸し切りバス新宿到着 (渋滞で遅延する可能性がありますので予めご了承ください) <u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u>	

< 3. 研修費用 >

大人 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 30,000円 新宿からご参加 35,000円

学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 15,000円 新宿からご参加 20,000円

子供 (小学生以下) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 5,000円 新宿からご参加 12,000円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 いろいろの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 入館料 ・ 遠山郷内交通費 ・ 旅行保険料	日程表に記載されたかぐらの湯の入浴料、藤原直哉講演会の講演料、旧木沢小学校管理費および農業研修ガイド料、お祭り奉賛金、入館料、研修中の遠山郷内の交通費、下記旅行保険料、新宿からご参加の方は新宿・遠山郷間貸し切りバスでの交通費
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害2千万円)

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

< 4. 旅行手配およびバス運行 >

マツカワ観光バス 株式会社	〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2 <本社/営業所> TEL 0265-36-2345 (代) FAX 0265-36-6060	一般旅客運送業 : 新自旅第771号
	国内旅行業務取扱管理者：松村 康文	長野県知事登録旅行業 : 第3-442号 社団法人全国旅行業協会正会員

< 5. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：10名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2012年8月17日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円 学生5千円 子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町 2-13-12 ASUKA ビル 2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751</p> <p>電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u></p>	

< 6. 研修概要 >

・ 研修名称	2012年8月 遠山藤原学校研修
・ 日時	2012年8月25日(土)・8月26日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	<p>現地 集合：25日(土) 12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館 解散：26日(日) 15:45 旧木沢小学校</p> <p>新宿 集合：25日(土) 6:45 新宿駅西口、工学院大学西側(地図参照) 到着：26日(日) 21:15 新宿駅西口</p> <p>(なお30分から1時間の渋滞を見込んだ時刻を設定してありますが、それを超える渋滞の場合は遅れて到着する可能性があります)</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u></p>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

< 7. 現地集合・解散場所まで/からの自家用車、電車での交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」 (電話 0260-34-1071)</p> <p>中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速 浜北インターから兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり 505号 豊橋 9:58 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 平岡駅 12:10 乗合タクシー かぐらの湯 12:30 かぐらの湯バス停はアンバマイ館玄関前。1人650円 (帰り) かぐらの湯 16:07 乗合タクシー 平岡駅 16:28 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:45 ひかり 530号 東京 20:10</p>

< 8. 注意事項、および持ち物など >

- ・ 日差しが強いので、必ず帽子と、ペットボトルまたは水筒をお持ち下さい。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトル、水筒またはポリタンをご用意下さい。
- ・ 農園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手、帽子をお持ちください。
- ・ 長靴は当方で用意します。
- ・ 朝夕は冷え込むことがありますので、念のため薄手の上着をお持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

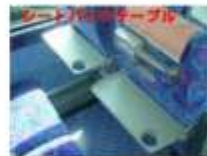
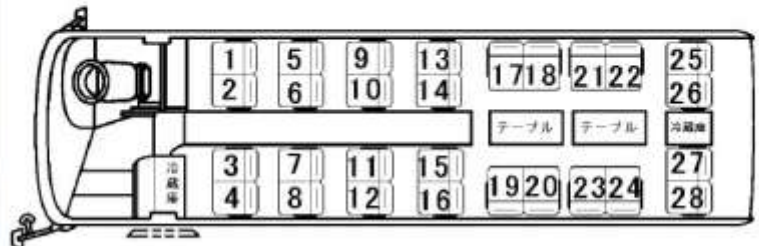
希望と心のふれあいの旅



MATSUKAWA
マツカワ観光バス

便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
 - 全シート可倒式アームレスト
 - シートバックテーブル・シートポケット
・コップ立て・灰皿
 - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
 - サロン席 2 分割テーブル
 - トレー式ルーフラック
 - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
 - 大型貫通トランク
 - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
 - 給湯ポット
 - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型、サロン席 15 型)
 - TVチューナー ビデオ・CD・DVDデッキ
 - シンセサイザーカラオケ
 - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
 - 障害物のないフロントワイドビュー
 - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈)(上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)

営業案内

貸切バス事業 一般貸切、各種送迎

小さなグループから団体旅行まで
旅のガイド付、地域観光案内

旅行事業 海外旅行、国内旅行

一度行ってみたいかった話題の観光地
ご希望に応じたコースの企画・見積と
手配・ご案内をさせていただきます



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

マツカフ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)
FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2
一般旅客運送業 北信交旅第813号
長野県知事登録旅行業 第3-442号
社団法人 全国旅行業協会正会員

新宿から貸し切りバスご利用の方へ

新宿駅西口、貸し切りバス集合場所

8月25日(土) 午前6時45分厳守



新宿駅西口の京王プラザホテル向かい側、工学院大学の西側

申 込 書

2012年8月 遠山藤原学校 8月25・26日

ご記入日： 年 月 日

選択してください ・ 自家用車で現地ご参加 ・ 電車で現地ご参加 ・ 新宿往復貸し切りバスご参加

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
		月日	年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)

■ ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。		
	部署：	役職：	
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() -	FAX	() -
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	@		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
※部屋割りの参考にさせていただきます。			
●ベジタリアン料理をご希望の方、お申し付けください。			
●その他ご希望等ございましたらご記入ください。			

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL : 0465-44-4750

E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0 4 6 5 — 4 4 — 4 7 5 1 ↑